

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 関西電力(株)赤穂発電所

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1 - 1 環境保全活動に関する方針

#### 赤穂発電所環境方針

赤穂発電所に従事するものは、『環境』や『資源の有限性』を常に考える「地球市民」であるとの共通認識を持ち、地域の皆さまとの共生を基本とした事業活動を通じ、環境負荷の低減および省資源・省エネルギーの推進など、地球環境の保全に貢献するため、次の活動を推進していく。

<行動指針>

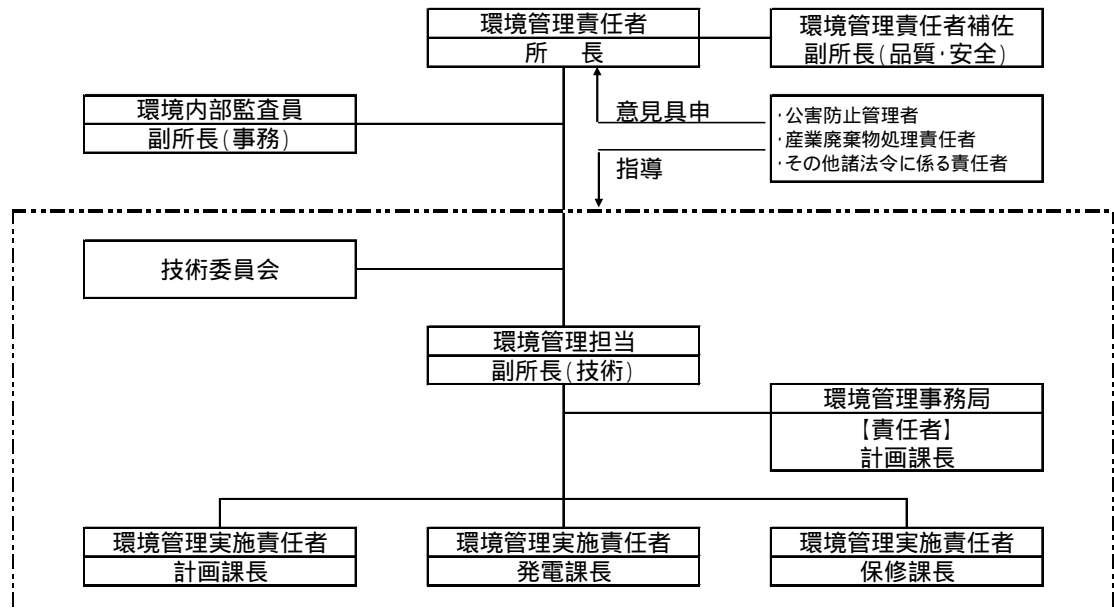
1. 環境方針、環境に関する法規制および関係自治体との協定を順守する。
2. 資源・エネルギーの効率的利用およびリサイクルならびに廃棄物低減を積極的に展開し、環境保全および汚染の予防に徹する。
3. 桜まつりなどのイベントをとおして、地域の方々とのふれあいづくりに努めるとともに、発電所周辺の美化活動に努める。
4. 常に実効のある環境管理活動を維持するため、管理システムの継続的な改善に努める。
5. 本環境方針を赤穂発電所へ従事するものへ周知し、意識の高揚と教育訓練等により環境負荷の低減に努める。

<環境目的>

地球温暖化ガス排出抑制に取り組む。

### 1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

<赤穂発電所環境管理体制>



## 2 環境保全活動の実施状況等

取組目標	具体的取組内容	取組結果	今後の取組計画
省エネルギー活動の継続推進	不具合（連続動作）の蒸気ドレントラップ早期修繕によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減	目標 0.372t-CO <sub>2</sub> /台に対して、実績 0.361t-CO <sub>2</sub> /台とほぼ目標とおり達成することができた。	今後は、恒常管理として取組むこととする。
	補助ボイラの最適運用による省エネ	発電所の高稼働により補助ボイラ運転機械（テスト機会含）が減少し、運用開始に向けた検証が出来なかった。	
	パージタンク、非常用タンクミキサ運転頻度変更による省エネ	目標 3.07t-CO <sub>2</sub> /年に対して、実績 3.58t-CO <sub>2</sub> /年と計画通り目標達成することができた。	
	構内道路燈点灯箇所見直しによる所内電力量削減	目標 44528kWh に対して、実績 44528kWh と計画通り目標達成することができた。	継続実施
	—————	—————	DSS 起動時のMTラブチェック無しによる起動電力の削減（新規取組）
安心され、信頼される環境先端企業を目指した取り組み	環境家計簿の普及促進することで環境意識の高揚を図る。	環境家計簿の慫慂を行った。	今後は、恒常管理として取組むこととする。

取組目標	具体的取組内容	取組結果	今後の取組計画
廃棄物3Rの推進	廃棄物の再資源化率目標の99%以上に取り組んだ。	廃棄物の再資源化率99.9%以上と目標を達成	継続実施
事務所電気使用量の削減	事務所の不要照明の消灯による消費電力削減。(昼休み)  夏季(7/1~9/22)の節電対策として、昼間空調停止およびエレベータの部分停止等による消費電力削減。	電力削減量目標 2.04MWh に対して、実績 2.04MWh と目標を達成  電力削減量目標 15% (H22年度最大電力比) に対して、実績 29%と目標を達成	事務所の不要照明の消灯並びにエレベータの使用の自粛に取り組む。
用紙購入量の削減	電子メールの活用、および片面使用済み回収ボックスを設置し、裏面の活用等により用紙購入量の削減に取り組んだ。	目標の用紙購入量削減に対して、H24年度実績では、4,202 kg であり、H23年度実績 4,532kg に対して、7.3% (330 kg) 削減した。	継続実施
燃費向上対策の推進	アイドリングストップ運動の推進 ワンボックス車を採用し利用者数に合わせて車両運行の効率化に取り組んだ。	目標の燃費向上に対して、H24年度実績の車両燃費は、5.38 km/L であり、H23年度実績 5.21 km/L に対して、3.3% (0.17 km/L) 向上した。	継続実施
オフィス用品のグリーン購入率の向上	購入手続き時のエコチェックおよび契約時グリーン購入法適合商品の選定に取り組んだ。	平成24年度のオフィス用品のグリーン購入率 100% であった。	継続実施